

番号	提出者数	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況
1	1	<p>インフラ（特に道路網）の早期整備は半島地域全体の振興につながるものと考えている。計画策定にあたって特段の配慮をお願いしたい。</p>	<p>国道・県道は「おおいたの道構想21」に基づいて、市道・町道は「国東半島地域道路整備構想」に基づいて、計画的に整備を進めることとしております。限られた予算の中、関係機関が連携して、効率的・効果的に道路網の整備を進めて参ります。</p>
2	1	<p>限界集落といわれる地区では、地区の行事も人手不足思うようにならないと聞いています。若者が地域に残る、そこに住めば得をするような取組が必要なのではないのでしょうか。</p>	<p>子育てを社会全体で支援する生活環境の整備と、農山漁業の6次産業化により雇用と所得を確保します。地域産業の振興を重点的に推進し、若者や子供も集落に定住出来る社会の構築を図ります。</p>
3	2	<p>国東半島の観光の浮揚策を半島の自治体が一体となって取り組んだらいかがでしょうか。</p>	<p>世界農業遺産の認定や、六郷満山開山1300年などを契機に、全国・世界に向けた情報発信や誘客の強化に、関係市町村と一体となって取り組むこととしてしています。</p> <p>また、国東半島を含む「豊の国千年ロマン観光圏協議会」においては、観光庁の支援なども受けながら、国を代表する観光圏の一つとして受入体制の整備や認知度向上に努めるなど、県としてもしっかりとした支援をしていきたいと思っております。</p>

